

国立科学博物館

NATIONAL MUSEUM OF NATURE AND SCIENCE

寄付研究部門への 寄付のお願い

独立行政法人国立科学博物館は、我が国唯一の国立の総合的な科学博物館として、自然や科学を身近に感じたり、考えていただく場となるよう、インパクトのあるわかりやすい展示・学習支援活動を行っています。また、自然や科学技術に関する貴重な標本資料を収集・保管し、公開するとともに、その調査研究を通して、我が国の学術研究の進展に寄与しています。

そのような役割を担っている当館に、このたび、新たに「自然史標本の保存・修復・活用に関する研究部門」を寄付研究部門として立ち上げることにしました。今日のグローバルな社会の中で、国内外の標本の適切な受入・貸出の面では勿論、遺伝資源としての活用の面においても自然史標本の保存・修復そして活用に関する科学の推進が喫緊の課題となっています。

つきましては、本研究部門の立ち上げのためのご寄付について、なにとぞ皆様の御理解と御協力を賜りたく、お願い申し上げます。



国立科学博物館 上野本館



筑波研究施設・筑波実験植物園



動物剥製標本庫



動物液浸標本庫

寄付研究部門の予算

(当面の3年間の立ち上げ予算案)

寄付目標総額……3千万円(年平均1千万円×3年間)

[年間経費内訳]

- 人件費…………… 600万円(特定研究員1名) 自然史研究者
- 人件費…………… 200万円(事務補佐員1名) 資料整理
- 物件費…………… 200万円(機器、消耗品、旅費等)
- 年間計……………1,000万円

寄付の種類

- 個人会員 1口:10万円から
- 団体会員 1口:50万円から

※税制上の優遇措置がございます。

ご優待(3年間)

- ▶ 常設展と附属施設(筑波実験植物園、自然教育園を含む)にいつでも無料でご入館(入園)いただけます。
(個人会員は、同伴者1名まで無料。団体会員は、1口10名まで無料)
- ▶ 特別展(年間3回程度開催)の招待券を進呈いたします。
(個人会員は、1口につき3枚進呈。団体会員は、1口につき10枚進呈)
- ▶ ミュージアムショップ等の割引をいたします。
- ▶ 特別展の「開会式・内覧会・レセプション」にご招待いたします。
- ▶ 科博の活動がわかる「これからの科博」を毎月お送りします。
- ▶ ご希望により、寄付者のお名前、団体名を館内掲示させていただきます。
- ▶ 館長とのディナー懇談会にご招待いたします。
団体会員の皆様には、上記に加えて次の優待をご用意しております。
- ▶ 常設展の招待券を進呈いたします。(1口につき10枚進呈)
- ▶ 2口以上の場合、ご希望によりホームページに、御社名をバナー表示いたします。

お問い合わせ

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
独立行政法人国立科学博物館 寄付研究部門担当宛
TEL: 03-3822-0111(月~金) FAX: 03-5814-9898

寄付研究部門

自然史標本の保存・修復・活用に関する研究部門



海外調査(植物)



昆虫の収蔵庫



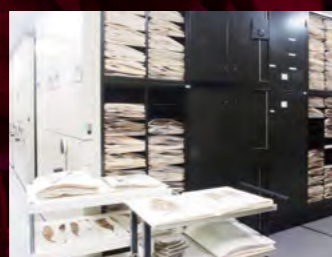
海外調査(昆虫)



鳥類の収蔵庫



深海生物相調査



植物乾燥標本の収蔵庫



苔類の調査



DNA実験室



哺乳類の標本処理作業



DNA用資料低温保管庫

研究目的

国立科学博物館には、菌類から植物、動物までの幅広い分類群を専門とする研究者が在籍し、420万点を超える自然史標本が所蔵されています。

これら自然史標本の保存・修復については、これまで文化財に関するような専門研究機関もなく、主に個々の研究者の経験に基づいてその方法が蓄積されてきました。そこでは、組織的・継続的な対応が十分とはいえず、いかにしてそれらを次世代に確実に継承してゆくかが大きな課題となっています。また、日本を含むアジア地域で行われている防虫のための燻蒸による化学薬品処理がDNAを損傷することはよく知られており、さらに、アルコール・ホルマリン中の液浸標本という形態での保存では今後のDNA情報の活用に耐えうるか問題となっています。

東日本大震災時の修復や保存に関する活動においても、自然史標本等については、法令整備なども含めそれらのあり方について課題が浮き彫りになりました。

以上のようなことから、我が国における自然史等の中核的研究機関である当館に、世界に先駆けて、こうした保存・修復・活用に関する一体的な研究部門を設けて、自然史資料の保存・修復と活用に関する科学を確立することをめざします。

研究内容・研究課題

現在、当館の420万点を超える登録標本のうち約360万点は動物・植物標本です。それらの多くの動物・植物標本は、液浸か乾燥して保存されておりますが、これらの自然史標本は、将来にわたっての研究資料となるものであり、遺伝子組成、形態特性などが明らかにできることが重要です。

また、これらの動物・植物標本は、明治初期のものからあり、年代ごとにDNAの断片化の程度を測定することにより、損傷の程度を時代とともに表すことが可能となるものです。すでに当館の一部の植物標本ではこの研究が進められていますが、他の標本についても、断片化の測定を行い、低温保管庫で保存されている標本と比較することにより、どの程度の損傷を受けているのか、時代と保存方法で比較検討することが可能となります。

同時に、現時点において、できるだけ早急に修復すべき標本が多数あり、それらに適切に対応する修復技術の確立も目指す必要があります。

期待される成果

新しい保存等の方法が確立することによって、以下のようなことが期待できます。

- 1) 登録されている標本を、保存体制ごとに仕分けして保存することができるようになります。すべてが同じ温度・湿度での保管ではなく、適度な条件での保存が可能となり、質的にも経済的にも効果が期待されます。
- 2) 新しい保存方法で環境悪化に対処することができそうです。現行のアルコールやホルマリンでの保存は、収蔵庫の環境を悪化させるもので、人的影響も改善されるものと期待されます。
- 3) 海外からの貴重標本に関しては、低温保管をすべきか通常保管で十分かの判断材料となり、海外標本の採集で相手国からの信用を得ることができるものと期待されます。
- 4) 研究目的によって保存された標本の選択が可能となり、各研究者が安心して研究等に取り組むことができるようになります。多くの生物が遺伝資源として未利用のままであり、今後の研究での活用に大きな貢献ができるものと期待されます。
- 5) 保存方法の確立は、修復すべき標本を将来的に少なくすることができます。また、展示・教育標本として他の博物館への貸出しを迅速に進めることができるものと期待されます。

独立行政法人国立科学博物館寄付会員 ご入会のお願い

独立行政法人国立科学博物館は、我が国唯一の国立の総合的な科学博物館として、自然や科学を身近に感じたり、考えていただく場となるよう、インパクトのあるわかりやすい展示・学習支援活動を行っています。また、自然や科学技術に関する貴重な標本資料を収集・保管し、公開するとともに、その調査研究を通して、我が国の学術研究の進展に寄与しています。

そのような役割を担っている当館に、このたび、新たに「自然史標本の保存・修復・活用に関する研究部門」を寄付研究部門として立ち上げることにしました。今日のグローバルな

社会の中で、国内外の標本の適切な受入・貸出の面では勿論、遺産資源としての活用の面においても自然史標本の保存・修復そして活用に関する科学の推進が喫緊の課題となっています。

つきましては、本研究部門の立ち上げのためのご寄付について、なにとぞ皆様の御理解と御協力を賜りたく、お願い申し上げます。

独立行政法人国立科学博物館長

林 良博

寄付の種類

- ▶ 個人／1口：10万円から
- ▶ 団体／1口：50万円から

税制上の優遇処置

- ▶ 個人……寄付金控除の対象となります。
- ▶ 団体……損金算入を優遇されます。

損金算入の限度額は、一般寄付金とは別に、限度額を設けて算入することができます。

ご優待 (3年間)

- ▶ 常設展と附属施設の入館料無料
 - ▶ 特別展の招待券を進呈
 - ▶ ミュージアムショップ等の割引
 - ▶ 特別展の「開会式・内覧会・レセプション」ご招待
 - ▶ 科博の活動紹介誌「これからの科博」を毎月ご郵送
 - ▶ 寄付者のお名前、団体名を館内掲示
 - ▶ 館長とのディナー懇談会にご招待
- 【団体の皆様には、上記に加えて次の優待をご用意しております。】
- ▶ 常設展の招待券進呈
 - ▶ ホームページに御社名をバナー表示

お申し込み方法

下部の「独立行政法人国立科学博物館 寄付会員入会申込書」をお送りいただくか、当館のホームページ (<http://www.kahaku.go.jp/about/donation/research/index.html>) から申し込んでいただき、会費を下記の取扱銀行の指定口座までお振込ください。会員登録終了後、会員カードを送らせていただきます。

三井住友銀行	店名	東京公務部	普通口座	0150654	口座名	ドクリツギョウセイホウジンコクリツ カ ガクハクブツカン 独立行政法人国立科学博物館
--------	----	-------	------	---------	-----	---

※ご記入いただいた個人情報は、制度の維持・皆さまへのお知らせにかぎり使用させていただきます。※お振込手数料はご負担下されますようお願い申し上げます。

キリトリ線

独立行政法人国立科学博物館 寄付会員入会申込書

独立行政法人国立科学博物館館長
林 良博 殿

独立行政法人国立科学博物館 寄付会員募集の趣旨に賛同し、下記のとおり申し込みます。

会員の種類		1 個人会員 1口／10万円 2 団体会員 1口／50万円	入会口数会費	<input type="text"/> 円 左記の金額を <input type="text"/> 金 <input type="text"/> 円也 平成 年 月頃払い込みます。	
個人	フリガナ 氏名	印 男・女		連絡先	
団体	フリガナ 団体名				
	代表者	御役職名			
	フリガナ 氏名				
ご担当	御役職名		掲示等の希望	上記メールアドレスに当館メールマガジンの 配信を希望されますか？	する・しない
	フリガナ 氏名			国立科学博物館館内掲示	する・しない
				国立科学博物館ホームページバナー表示 (団体会員を対象といたします。)	する・しない